MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

後援会合併第１号　2010 Vol.14

あいさつ　１～２ページ
大学の動き　３～６ページ
学生生活　７～８ページ
国家試験　１０ページ
大学行事予定　１０ページ
学生支援事業　１１～１２ページ
新任教職員の紹介　１３～１４ページ

今年もにぎやか！

夢緑祭　７ページ

シリーズ

「開学15周年に向けて」３ページ
「研究室訪問」　９ページ

三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

あいさつ

理事長〔学長〕あいさつ　村本淳子

本学は、平成21年4月1日に独立行政法人化し、「公立大学法人　三重県立看護大学」となり1年が経過しました。法人化により県から６年間の中期目標が示され、それに対し大学も６年間の中期計画を掲げ、さらに詳細に年間の到達目標を設定して教職員一同、速戦実行の精神で全力をあげて大学改革と大学の発展に努めております。そして今まさに６年間のうちの1年目の評価を行っているところです。

本学は法人化したことにより、「自主・自律の精神」で、主体的に行動を起こし、受験生、在校生、卒業生に対し、これまで以上に質の高いサービスをより迅速に行い、質の高い優秀な看護職者育成に努めております。受験倍率は昨年に比べ飛躍的に延び、マスコミにもとりあげられました。また学部卒業生・大学院修了生は平成22年3月で約1000人となり、県内を始め、広く国内外で活躍しております。本当に頼もしい限りです。

さらに大学の附属機関である地域交流センターの幅広い事業をとおして、地域の医療関係機関や地域住民との協働・連携がますます活発になり、本学の使命でもあります「地域に根ざした大学」の実現に確実に一歩ずつ近づいていっております。

大学の附属図書館は、平成22年4月から専門家の外部委託により看護関係の専門司書等を配置し、さらに質の高いサービスの提供ができるようになりました。また看護関係の邦文・英文書籍の蔵書数も県内でもっとも充実し、県内の看護学生はもとより多くの看護専門職者の方々に利用いただき、図書館の利用率も急増しております。

このように、本学は三重県の看護におけるキーステーションとしての役割を担いながら、後援会や同窓会との強い関係を構築し、県民のご支援をいただきながらこれからますます発展していきます。

法人化一年を振り返って…　理事（企画情報担当）齋藤　真

平成21年４月、本学は三重県初の地方独立行政法人として再出発いたしました。昨年は、紆余曲折しながらも皆様からご指導をいただき、自主的、自律的な大学経営をめざして努力した１年でした。法人化することは、組織や予算の面での大学の裁量が拡大し、独自の判断に基づいた教育研究や地域貢献活動が可能となります。本学も地域交流センターによる地域貢献事業の展開やメディアコミュニケーションセンターを中心とした広報活動や学生募集活動の強化、弾力的な予算執行による経費節減、教員の人事評価制度の導入等々、法人化前に比べて積極的な取り組みをしてまいりました。昨今の大学をとりまく環境は18歳人口の激減とともに厳しく、大学は国公私立を問わず「運営」の時代から「経営」の時代へと変化しています。本学もこうした時代に乗り遅れないよう、柔軟な経営体制と質の高い教育研究を保てるように考えております。

法人化後の大学は、三重県が定めた中期目標に対して法人が中期計画を策定、6年間を一区切りとして毎年評価を受けます。評価は、知事が任命する外部委員によって厳正に行われ、評価結果の如何によっては改善、改革が要求されます。さらに6年後の最終評価は、大学基準協会の外部認証機関の評価結果を加味して総合的に判断されます。本学は平成15年に大学基準協会による認証を受け、本年はその更新認証を受ける予定にしております。

本学は法人化を契機に三重県内の看護の拠点大学となるように鋭意努力してまいりますので、是非皆様のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

後援会会長あいさつ　行元　強

この度、三重県立看護大学後援会会長に就任いたしました。微力ではありますが、学生達が充実した大学生活を過ごせるように大学を支えてくださる方々や、後援会会員の皆様と力を合わせて取組んでいきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、本学は「心と体と技術」のバランスのとれた、質の高い看護実践家の育成を目指して、教職員が一丸となって教育にあたっておられます。その様子は、何事にもポジティブに取組んでいる娘の姿を通じて感じることができます。看護、医療の分野は、まったく分からない私ですが、長年にわたり、コンピュータのソフトウエアを開発してきた経験から、「心」と「基礎」が重要であるという面で、相通ずるものがあると思います。

「心」がないシステムは、開発が完成した時点で終了になりますが、開発者・利用者が目的のため心を開いて取組んだシステムは、完成した時点より歴史が始まります。

開発に当たり、そのシステムを実現するための技術が必要になります。「基礎」があって、はじめてそれを応用し実現していくことができるのです。分野は違いますが、社会人として、職業人として求められる大切なものは同じであり、本学の教育姿勢に共感しました。

最後に、保護者の皆様には、後援会活動に深いご理解と温かいご支援を賜り感謝致しますと共に、心より御礼申し上げます。

後援会　役員紹介

▼新任役員紹介

市川副会長

小堂理事

出口監事

▼役員名簿

会長	行元　強	理事	杉谷　吉彦	顧問	村本　淳子	学長
副会長	下出　真一	理事	中井　まゆみ	顧問	渡辺　重和	事務局長
副会長	市川　稔	理事	西山　和仁	事務局長	松本　悟	事務局副局長
理事	上村　若代	理事	小堂　幸恵	事務局	佐田　実	
理事	伊藤　純子	監事	西岡　淳二	事務局	柴田　淳子	
理事	黒川　淑子	監事	出口　美代子			

三重県立看護大学開学15周年記念事業
『三重の看護史』編さん・発行とミニ看護博物館開設プロジェクト

三重県立看護大学は平成24年に開学15周年を迎えます。そこで、記念事業のひとつとして『三重の看護史』編さん・発行とミニ看護博物館開設を計画しています。

三重の看護の歴史や教育に関する文献、道具、衣服、資料等を収集しています。みなさまのお手元にこれは！と思われる資料はありませんか。古い看護師免許や当時の新聞記事、教科書、看護衣、看護用具等、なんでも結構です。また、看護職としてご活躍の方、かつて看護職に就いておられた方、そのような方をご存じの方等、ひろく県民の皆様に三重県の看護についてお話をお聞かせいただきたいと思います。

看護の軌跡を見つめ、未来の看護を築くためにご協力賜りますようにお願いいたします。

～『三重の地であなたと創る未来の看護』三重県立看護大学～

三重県立看護大学地域交流センター
平成22年度出前授業と公開講座のご案内

国際協力入門セミナー（6月23日）

三重県立看護大学地域交流センターでは、地域の皆様に貢献する大学として様々な事業を展開しています。そのうち、53テーマを取り揃えた出前授業は、病院・医院、小・中・高校に加えて、多様な施設・団体等からもご利用·ご好評いただいております。また、公開講座は、本学のみならず、北勢、伊賀、東紀州の各地域での開催を含めて、9講座を開催する予定（8月末時点）です。詳細については、本学ホームページ（出前授業と公開講座講師派遣に関してはトップページから地域交流センターのページ、公開講座に関してはトップページ）をご覧ください。

『三重の看護史』編さん・発行とミニ看護博物館開設の資料提供および地域交流センター事業に関するお問い合わせ先：三重県立看護大学地域交流センター

TEL/FAX：（059）233-5610　E-mail：rc@mcn.ac.jp

感染管理認定看護師教育課程を平成23年度開設予定！

～入学するための実績作りがポイントです～

当大学地域交流センターに、日本看護協会が資格認定する「感染管理認定看護師」の教育課程を平成23年度に開設するために、プロジェクトを立ち上げ着々と準備しているところです。そんな中、嬉しいことに早くも問い合わせがきています。

Q：感染管理認定看護師教育課程に、受験資格はありますか？

A：入学する時点で、実務経験が5年以上、そのうち3年以上は感染管理の経験が必要です。最新の知見やサーベイランスに基づいたケア改善の実績も必要です。

しかし、「そんな、実績はない～」と思い込む方が多いのではないかと思います。あまりにも日常的な業務として、感染管理を実践しているので、自分ではその実績に気付いていない方がいます。まずは、自施設の管理者の方に相談して、感染管理の実情や実績を確認してください。そして、よろしければ、お気軽にこちらまでご相談頂きたいと思います。

平成23年度開始早々に、研修生の募集を開始したいと考えていますので、感染管理の実績を積み上げてお持ち頂きたいと思っています。

お問い合せ先：TEL　059-233-5669　事務局企画広報課

図書館を(株)紀伊國屋書店に業務委託

本学附属図書館は、平成9年の開学以来、学生の教育および教員の研究を支える存在であるとともに、地域の皆様にも学習の場としてご利用いただいてまいりました。2010年4月からは、（株）紀伊國屋書店へ業務委託を行い、利用者支援のための各種ガイダンス、資料の企画展示など、ご利用の皆様へのバックアップを強化しております。夜間21時（長期休業中は17時）までの開館は、卒業生や医療関係者にもご好評いただいております。おかげさまで、4・5月の2ヶ月間の入館者数は昨年度の1.3倍、学外利用者数は1.5倍とたくさんの方にご利用いただきました。本館の看護関連の蔵書数は約7万冊と県内屈指の蔵書数を誇り、更に電子ジャーナルを含む雑誌332タイトル、5つのデータベースを提供しております。また、小説や一般雑誌を取り揃えたリフレッシュコーナーも設けております。今後とも本学附属図書館をご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

大学の動き

はっぴ

大学PRのため様々な催し物で活躍中

アカデミックオープンキャンパス

本学の入学者選抜試験科目が平成23年度より変更されます。そのことをふまえて、志望される高校生・高等学校の先生・保護者の皆様方が、入試準備に取り組んでいただけますことを目的に、3月20日に開催いたしました。

高校生169名、教員・保護者42名の方々にご参加いただきました。高校生の皆様には、大手予備校のベテラン講師5名によって22年度の特別選抜入試問題の模範解答と解説が行われました。教員・保護者の方々には、本学教員からの大学案内と説明および卒業生からのメッセージを聞いていただきました。また、ブース毎の個別相談には、多くの方がご参加くださり、どの内容にも熱心に聞き入っていただき、盛況のうちに終了しました。参加者アンケートからは「大いに役に立った」「役に立った」が、教員・保護者から95%以上、高校生からは90%以上の回答を頂きました。

フレンテまつり

6月4日、5日に開催されたフレンテまつりに本学も参加しました。のべ300人以上の方に骨密度や体脂肪測定などを体験していただきました。

卒業式・修了式 華やかに

平成22年3月19日の快晴の日に、平成21年度の本学看護学部の卒業式と大学院看護学研究科の修了式を華やかに執り行いました。看護学部93名、大学院看護学研究科4名の学生が学生生活を終え、希望や期待を抱きつつ、次代を担う看護専門職者として社会に向かって羽ばたいていきました。

希望と共に 入学式

平成22年4月6日の桜が満開の日に、平成22年度の看護学部および大学院看護学研究科の入学式が行われました。看護の道を志し、希望に瞳を輝かせて、看護学部101名、大学院看護学研究科4名の学生が入学しました。充実した学生生活を送られることを願っています。

三重県立看護大学生活協同組合

食堂

昼食のご提供
一人暮らしの学生さんにもうれしいおふくろの味。毎日食べ応えのあるおいしいメニューをご提供しております。

購買

文具、雑誌、軽食などから教科書の販売、ナースウェアなど医療実習教材の販売、教材用パソコンの販売など幅広く取り扱っております。
今年度より大学のオリジナルキャラクター『みかんちゃん』のグッズも入荷！ぜひお立ち寄りください。

共済事業

事故や病気への補償を対象とした共済、および他人に対する賠償責任を補償する学生賠償責任保険による日常生活や臨地実習時の保障に加入いただけます。

駐車場増設

平成22年3月に21台分の駐車場を増設しました。今後とも、みなさまの利便性向上を図るため、鋭意整備に努めてまいります。

学生生活

夢緑祭

5月30日

学生自治会が主体となって開催された第13回夢緑祭。子供からお年寄りまで、幅広い層の方々に楽しんでいただけるイベントが満載で、今年は昨年の倍以上の人にお越しいただきました。

「Campus CUBE」放送中

レディオキューブFM三重78.9MHz
毎週金曜日20：30～20：55

4月から「Campus CUBE」のパーソナリティーとして本学学生3名が参加しています。三重県内の大学が連携して情報発信していく、県内の大学生と地域を結ぶ25分間。ぜひ一度、耳を傾けてみてください。

ゆびた祭り

7月7日

毎年恒例のゆびた祭りを今年は七夕の７月７日に開催しました。今年も多くの方々に来て頂き大盛況で迎えることができました。小さなお祭りではありますが、これからも夢が丘という地域に密着した楽しい祭りを提供できたらと思っています。

国際交流

本学は、開学以来国際的視野を持って活動できる能力の育成を教育目標に掲げ、国際交流を積極的に推進しています。本年度も、2001年にタイ国マヒドン大学との間に締結した交流協定に基づき、4月19日から5月2日の2週間、3名のマヒドン大学生が本学で研修を行い、来年の3月には約2週間の予定で6名程度の本学学生をマヒドン大学での研修に送り出す予定です（本研修は2008年度から国際看護実習Iとして単位を認定）。さらに、本年度は新たに国際看護実習IIを開講し、8月7日から8月16日の約1週間、6名の学生を米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校での研修に送り出す予定です。

関係の皆様には、今後とも本学の国際交流にご支援賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

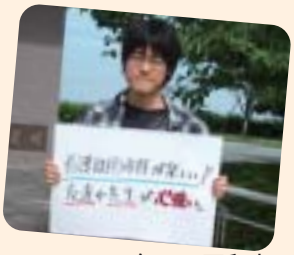
学生一言インタビュー

今回のテーマ
「今一番楽しいことは？」

1年　濱口彩子

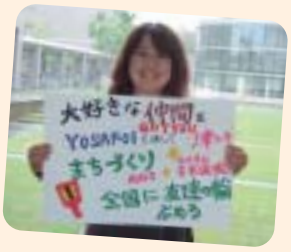
1年　南端理沙

2年　阪野由衣花



2年　日下和也

3年　古川和誠



3年　原田千秋

4年　岡山季美花

4年　膽畑亜実

表彰制度

今年度から看護学部では4年間の学業成績が最も優秀であった学生を最優秀生として卒業式に表彰する制度を設けました。その初めての表彰を受けたのは宮浜朋子さんでした。表彰制度ではその他の学年でも1年間の学業成績の良かった学生を表彰する制度としています。他の学年は新学年のガイダンス時に表彰され、表彰される学生を他の学生が称えている姿が印象的でした。

研究室訪問

「日常生活のフィールドワークを通じて」

私たちの生活は、多種多様な専門的知識に囲まれながら成立していますが、このような社会生活の内実をなす私たちの行為や経験はどのように組み立てられているのでしょうか。いくぶん捉えどころのないものかもしれませんが、このような研究テーマのもとに私は自分の専門である社会学の研究をおこなってきました。具体的には、なにげない会話場面にはじまり医療・福祉の現場などの制度的な場面にまでいたる様々な現場に赴き、観察をおこないながら、科学や医療といった専門的知識や技術との接点においてごく普通の人びとがどのような行為と経験を持っているのか考察してきました。

このような作業を重ねながらいずれは日常生活の知識と専門的知識との間の適切な関係作りの媒介役になれれば、などと考えてはいるのですが、自分の歩みの鈍さに弱り果てているのが実情です。このようなわけでさまざまな面において皆様のご指導をいただくことになると思いますが、どうかよろしくお願いいたします。

社会学　准教授
浦野　茂

慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学ののち、青森大学社会学部准教授を経て、現職。著書に『概念分析の社会学』〔共著〕（ナカニシヤ出版、2009年）などがある。

「私の野望」

精神看護学　講師
船越　明子

児童精神科病棟看護師、精神科クリニック訪問看護師としての臨床経験を経て、現職。（東京大学大学院　医学系研究科健康科学・看護学専攻　博士後期課程修了、保健学博士。）

大学で看護学生にこころの病について語ったり、臨床現場に出かけて行ってインタビュー調査をしたり、興味のある勉強会や学会があれば遠方まで出かけていく、私の仕事はこんなところです。こうした日々の仕事に追われる中で、精神科の看護師として勤務していた時のことを時々思い出します。がむしゃらだった自分、そして、今も看護師として臨床の第一線に立っている仲間のこと。私には、野望があります。それは、「臨床現場に今すぐ役立つ看護研究をすること」です。これまで、精神科訪問看護や児童・思春期精神科看護をテーマに研究を行ってきて、少しはこの野望に近づいたかもしれません。しかし、私はもっと大きな夢をもっています。それは、「看護を語り継ぎたい 。」「看護師の行っていることを言葉にして記述したい。」という夢です。特に、私が専門にしている精神科での看護は、患者さんとの信頼関係に基づく言語的・非言語的なコミュニケーションが中心ですので、ケアの内容や看護技術が目に見えにくいという特徴があります。熟練看護師が感覚として、経験として身につけた看護の技を、言葉にして語り継ぐことができればどんなに素敵でしょう。そのために、看護大学の教員として、私にできることは何かと日々問い続けています。

国家試験

国家試験対策委員に強力な助っ人が誕生！

今年度から、国家試験対策委員に強力な助っ人として、学生５名（池田幹人くん、伊藤優希さん、角亦志織さん、坂田知可さん、巣山裕晃くん）が自主的に参加してくれました。早速、６月の国家試験対策模試の対応から、主体的に活動する学生委員の姿を見て、多くの学生が「国家試験対策を本格的に始めなければ！」と身を引き締めたと思います。これからも、学生と教員が手を組んで、受験生の「やる気スイッチ」を押して、国家試験合格100%を目標に取り組んでいきたいと思っています。

【今年度予定】保健師・看護師・助産師国家試験対策模試を各３回実施
低学年対象専門基礎科目実力確認テストを実施（３年生対象）
補講と特別講義を開催

2009年 看護師国家試験大学別合格者数

全国　　第10位
公立大学　第2位
（厚生労働省資料より）

国家試験合格状況

平成22年2月に、10期生93名が受験した国家試験の合格発表がありました

国家試験の名称	受験者数	合格者数	合格率	全国合格率
第99回看護師国家試験	93人	91人	97.8%	93.9%
第96回保健師国家試験	93人	83人	89.2%	87.8%
第93回助産師国家試験	2人	2人	100%	83.2%

大学行事予定

2010・8・5現在

平成22年度大学行事予定（9月以降）

9月	4日	大学院入学試験
	11日	教育懇談会
	28日	意見交換会～学長と県内病院看護管理者～
11月	23日	特別選抜入学試験
12月	4日	大学院入学試験（二次）
1月	15・16日	大学入試センター試験
2月	25日	一般選抜前期入学試験
3月	12日	一般選抜後期入学試験
	16日	卒業式
	19日	アカデミックオープンキャンパス
		タイ国マヒドン大学での研修

平成22年度地域交流センター事業等予定（9月以降）

9月	25日	みえアカデミックセミナー2010移動講座：眠りと健康	菰野町庁舎	二村良子准教授
10月	7日	看護研究の基本ステップ　秋季日程 （全4回：10/7,11/11,12/2,12/21開催）	本学	本学教員
	20日	公開講座：子ども観と文化	本学	清水將之教授 （関西国際大学大学院）
11月	5・6日	みえ産学官研究交流フォーラム2010	四日市ドーム	
	12日	看護研究アドバンストコース（質的研究編） （全3回：11/12,12/13,12/20開催）	本学	本学教員
	26日	公開講座：食と命（いのち）	本学	東口髙志教授 （藤田保健衛生大学）
4月～23年3月		FM三重　CampusCUBE（毎週金曜20:30～20:55）	FM三重	本学学生
通年		出前授業	県内高校、病院等	本学教員

地域交流センター関連の事業は地域交流センター提案事業のみです。
教員からの提案事業は大学HP（地域交流センター　平成22年度地域貢献事業）にアップされていますので、こちらでご確認ください。

学生支援事業

ようこそ先輩

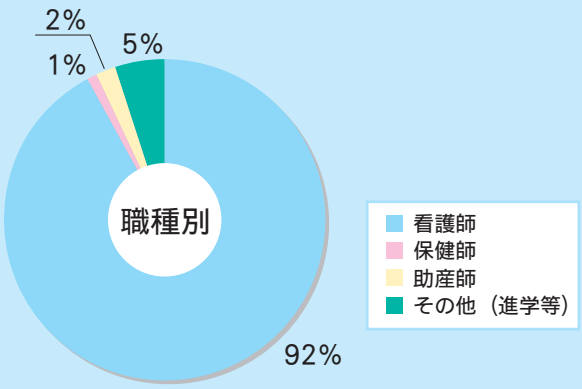
ようこそ先輩の行事は、卒業学年学生が、多用な最終学年を如何に過ごせばいいかのヒントを見出すような機会を提供するものです。お招きする先輩は、看護師・保健師・助産師として現場で働く人および看護系大学院で学ぶ大学院生にお願いしています。今年度は、6月16日13時から17時に開催し、5名の先輩に参加いただき、初めて1部と2部に分けて運営しました。第１部は大講義室で、パネル形式により、「就職に関すること」、「国家試験勉強に関すること」、「卒業研究に関すること」などに関する貴重な体験談を公表していただき、在学生からの質問に答えていただきました。ここでは、先輩の持参した国家試験勉強用の自作のノート提示が大好評でした。第2部は、学生ホールに移動し、先輩と後輩が同じテーブルで自由に意見交換するという形を取りました。自由に語り合い、在学生には非常に有益な時間が持てたようです。

同窓会HP紹介

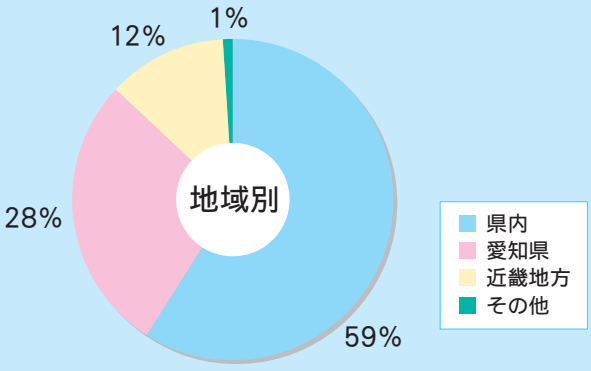
同窓会も設立から７年目を迎えます。これまでの活動は、会員名簿の整理と会報誌の発行にとどまっておりましたが、これからは同窓生相互の繋がり、母校との繋がりを深めるための活動が必要と考えております。その一環としまして、今年3月に同窓会のホームページ（http://www.mcn.ac.jp/mcn-dousoukai/）を開設しました。また本学の前身である三重県立看護短大 同窓会との統合についても前向きに検討を進めております。

連絡先：dousoukai@mcn.ac.jp

就職状況



職種別就職状況



地域別就職状況

就職説明会

就職説明会は、卒業学年学生を対象に、三重県内の医療機関等への就職支援としての情報提供行事として例年行われ、低学年の行事への参加は自由です。

本年度は、6月16日15時から17時に開催しました。就職説明会への参加依頼施設の条件を、実習依頼をしている病院、過去2年の就職先、過去3ヵ年の説明会参加施設、在宅看護実習関連病院とし明確にしました。その結果31施設の参加をいただき、施設ごとのブース形式で相談が行われました。参加学生は76名（4年生75名）と卒業予定学生の8割程度の参加がありました。参加アンケートからは、学生は自分の疑問や知りたかったことを明らかにすることができ、さらには説明いただいた方との直接的な人間的接触から、「○先生の話が楽しかった。地方もいいと考えがかわった。」などと有益な時間を過ごすことができたようです。

平成21年度卒業生の就職状況です

主な県内就職先（53名）

三重県厚生連鈴鹿中央総合病院
山田赤十字病院
国立病院機構三重病院
三重県立総合医療センター
三重大学医学部附属病院
社会福祉法人恩賜財団済生会松阪総合病院
市立四日市病院　他

主な県外就職先（37名）

刈谷豊田総合病院
名古屋大学医学部附属病院
名古屋第二赤十字病院
愛知県厚生連江南厚生病院
あいち小児保健医療総合センター
大阪市立総合医療センター
名古屋セントラル病院
名古屋第一赤十字病院　他

新任教職員の紹介

実践基盤看護学　特任教授
岡本　恵里

今年度より、実践基盤看護学の授業科目を担当させていただくことになりました。基礎看護教育に携わった20年余りの経験を生かし、学部生、大学院生と共に「より質の高い看護実践力」を目指していきたいと思います。

社会学　准教授
浦野　茂

はじめまして。これまで私は、社会学という専門のなかで調査研究や教育を行ってきました。そのなかでとりわけ心がけてきたのは、日常生活の様々な場面における私達の経験と実践の組み立てられ方をできるかぎり丁寧に理解していくということです。振り返ってみるとまだまだという感じですが、これからも努力していってみたいと考えております。どうかよろしくお願いいたします。

母性看護学　講師
和智　志げみ

学生の頃、新生児の魅力に取り付かれて○○年が経ちました。助産師として大学病院の周産期センターに勤務し、教員としての経験は未だ6年と駆け出しですが、学生の若さに負けずに元気よくがんばりますのでよろしくお願いいたします。

地域交流センター　特任講師
澤井　早苗

4年間のブランクを経て教員として復職し、地域交流センターを担当しています。地域に根ざす大学として、地域交流センターの役割である、県民の皆さまと大学の連携・交流の橋渡しができるように頑張りたいと思います。

成人看護学　助教
長谷川　智之

平成22年4月1日付けで成人看護学領域の助教に着任致しました。私は本学の卒業生であり修了生でもあります。母校で研究・教育に携われることを誇りに思っています。誰にも負けない本学への愛情と熱意を胸に、三重県立看護大学のさらなる発展に貢献していきたいと思います。

老年看護学　非常勤教員
上田　佳子

今年度4月より、老年看護学領域で勤務させて頂いています。今までは県内の総合病院で勤務し、3交代しながら、患者さまを直接サポートする立場でした。教育の場での仕事は初めてですが、学生さんたちにも常に笑顔で接することができるよう、心がけていきたいと思っています。よろしくお願いします。

老年看護学　非常勤教員
宮崎　香代

7月から新しく職員になりました、宮崎香代です。領域は老年看護学です。本大学を卒業し、3年間臨床で働いていました。心機一転頑張っていこうと思います。よろしくお願いします。

総務課　課長
川辺　秀樹

本学に赴任する前は、三重県の出納局で財務会計システムの運用を担当していました。趣味はバレーボールで、本学でも折を見てバレー部の練習に参加させてもらっています。どうかよろしくお願いします。

総務課
疋田　一美

30年以上電機メーカーの工場勤務でしたので、大学での勤務は新鮮であると同時に緊張の連続でもあります。趣味は旅行ですが、しばらく海外には行けず家族とドライブ中心の国内旅行で気分転換を図っています。

退職の教員

片山　春香	助手	平成22年2月
中村　恵	講師	平成22年3月
髙橋　美和	講師	平成22年3月
奥　百合子	助教	平成22年3月
市川　香史	助手	平成22年3月
常田　佳代	助手	平成22年3月
荒木　美和	准教授	平成22年6月

平成22年3月に退職・転出の職員

宮嵜　純二	森岡　昌子
水本　智恵	山口　太一
世古口　正夫	二宮　由加利
森　由美	中野　香苗
竹本　知里	渡部　由美子

教務学生課
岡　智恵里

4月より教務学生課に赴任いたしました。大学では、主に入試業務を担当しています。大学という初めての環境で慣れないことも多いですが、周りの人の助けをお借りしながら、自分らしく学生を支援していきたいと思っています。

学生部専門監
近藤　武

教務学生課の一角に座っています。全国各地の国立・私立の大学学生部や民間団体に勤務の後、社労士業務等を経て現在に至っています。学生の皆さんには、国家試験合格を目指すことはもちろんですが、専門職である前に優しさを備えた社会人に育ってほしい、ボランティアやサークル活動などを通して経験を積み、交友を拡げてほしいと思います。人生の先輩として相談に乗れることがあるかも。

企画広報課　課長
吉田　智明

県の医療政策室よりまいりました吉田です。大学では法人としての業務や広報などを担当します。三重県立看護大学を一人でも多くの方に知っていただくよう情報提供をしていきたいと思います。

企画広報課
熊﨑　淳

平成22年4月に県教育委員会事務局からまいりました。本学での所属は企画広報課で、主に地域連携、情報、感染管理認定看護師教育課程創設などの業務を担当しています。まだ不慣れな点が多いですが、本学の発展に貢献していきたいと思います。

企画広報課
中跡　藍子

平成22年4月より企画広報課に勤務しております中跡と申します。オープンキャンパスや大学広報誌の発行などを担当させていただいております。活気あふれる学生生活を広く外へ発信していけるよう大学を紹介して参りたいと思います。

附属図書館
服部　真実

最先端の専門情報に囲まれ身の引き締まる思いです。皆様の看護への熱意をそのままパワーとしていただいてます。その熱意に応えるべく、精一杯、利用支援をしています。お気軽にお声かけください。

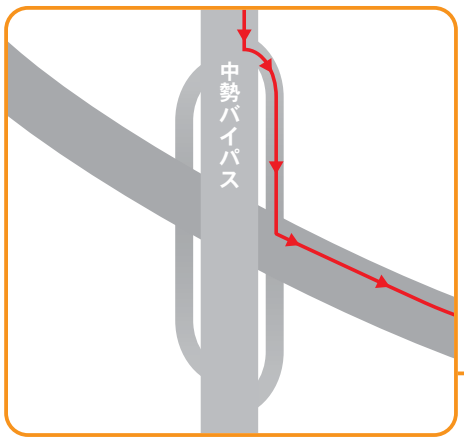
附属図書館
中村　聖子

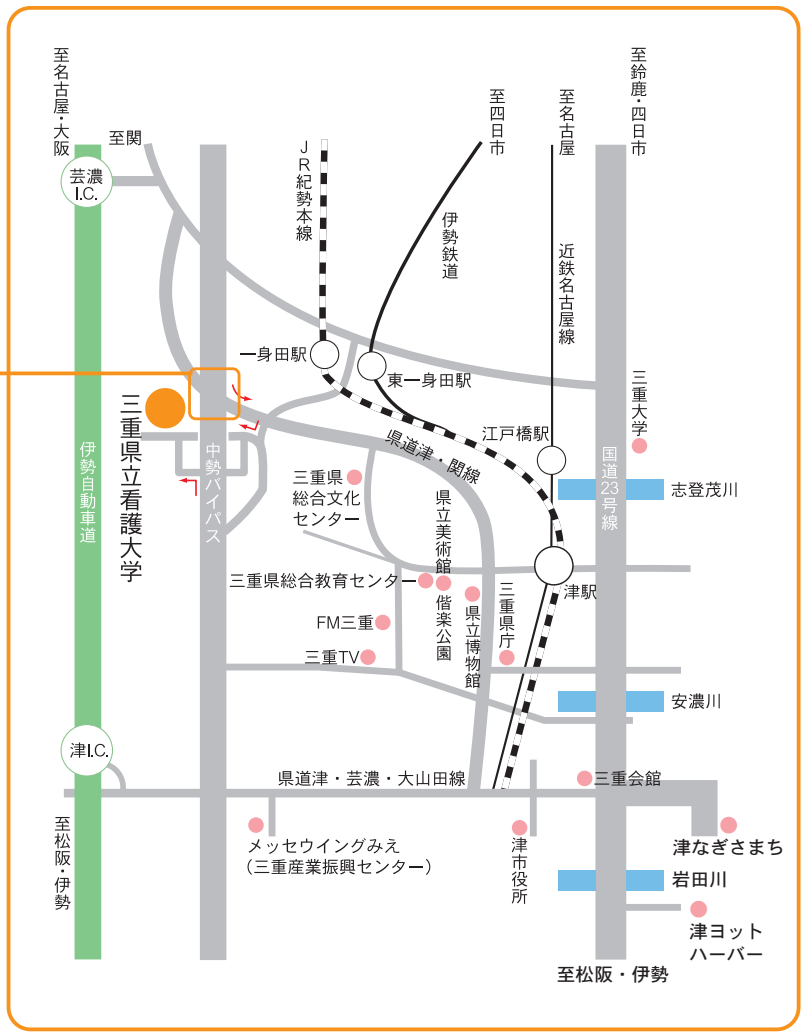
平成22年度から附属図書館でお世話になり、まず感じた事は、学生さん達はとても研究熱心ということです。利用者の皆様がよりよい環境のもとで情報を入手でき、その研究に少しでも役立てるようスタッフ一同協力して取り組んでいく所存です。

附属図書館
村木　啓之

看護大学の附属図書館としてのカラーを打ち出せるように、看護および周辺分野の資料収集や情報提供に注力することで、利用者の皆さんをサポートして参ります。いつでも声をかけてください。

アクセスマップ





交通のごあんない

電車で…

- 「名古屋駅」から「津駅」まで
  ＪＲ快速みえ・近鉄特急で50分
- 大阪「難波駅」から「津駅」まで
  近鉄特急で90分

車で…

- 「津駅」からタクシーで約10分
- 津駅西口バスのりば「１番」から
  三重交通バスで「夢が丘団地」行き
  「看護大学前」バス停下車　徒歩１分

飛行機　船で…

- 「中部国際空港（セントレア）」から津エアポートラインで「津なぎさまち」へ40分
  「津なぎさまち」からタクシーで
  「三重県立看護大学」まで約20分

学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。

三重県立看護大学は環境配慮の国際規格を認証取得しました。
看護系大学で初めてISO14001を認証取得。

地球環境と共生し調和するエコキャンパスをつくるため、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、地球環境にやさしいキャンパスづくりを積極的に推進しています。

ISO14001とは…ISO（国際標準化機構）環境保全のための国際規格ISO14000シリーズのうち、ISO14001は企業や団体が事業活動を行う際に、環境に対する負荷を軽減する事業活動の一部として組み込み、継続的改善を行うための環境マネジメントシステムについて定めています。

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

公立大学法人
三重県立看護大学

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1
TEL 059-233-5600（代）
FAX 059-233-5666
http://www.mcn.ac.jp

…大学からのお知らせ…

《プロモーションビデオ》

大学PR用のプロモーションビデオ第3弾を作成しています。学生生活や卒業生の活躍を紹介する予定です。

編集後記

今年度よりＭＣＮレポートは９月・３月の年２回発行となります。大学のいろんな姿をレポートしていきたいと思っています。この14号は、ＭＣＮレポートと後援会会報誌の合併号として無事に編集することができました。ご協力、関係していただいた皆様に感謝いたします。

□平成22年9月発行